

名事研=ユース

名古屋市立小中特別支援学校事務研究協議会
<http://meijiken.sakura.ne.jp/>

No. 138

平成21年 6月 29日
発行 名古屋市立小中特別支援学校
事務研究協議会 情報部
発行責任者 濱田 光晴

4月24日、名古屋市教育センターにおいて平成21年度定期総会が開かれ、平成20年度の事業報告等の審議がされました。平成21年度事業計画、予算案等についても承認され、今年度の名事研活動がスタートしました。

CHALLENGE to CHANGE

会長 中村 紀子
(鶴舞小学校)



名古屋市教育委員会は「夢に向かって人生をきり拓く子どもの育成」を期し、各学校において、明確な教育目標に基づく創意ある教育活動の展開と学校評価や学校評議員制を活用しつつ主体的に学校運営や教育活動の改善に取り組む「創造していく学校づくり」に努めるよう求めています。

今、学校事務のあり様が変わりつつあり、変化のスピードが増しているように感じます。特に、昨年度より1中学校区10ブロックで始まった学校間連携は今年度から、ほぼ2中学校区を1ブロックとし、24ブロックでの取組に拡大されました。その目的も安定した学校運営、新規・少経験者の増大への対応とともにOJTによる資質向上、事務の適正化・効率化・平準化、子どもたちの教育環境を充実させることとなっています。各ブロックでは連携組織の中で、連携の目的達成に向け、より効果があがるように実践をすすめているところです。

そのような中で、学校事務職員が子どもたちのための学校づくりに積極的に関わり、名古屋の学校事務をより効果のあるものにしていくためには、具体的な目標の設定と、そのための行動計画が必要です。職務標準の通知が出たから、学校間連携が始まったから「やらなければならない」(must)ではなく、子どもたちのために学校事務はどうありたいのか、そして私たち学校事務職員は「どうありたいのか?」(will)という視点で考えることだと思います。方法・手段としての仕組みとどのような学校事務を構築していくかを整理しなおす時機が来ています。

「創造する学校づくり」にチャレンジし、推進していく、名古屋の学校事務のあり方と、そのための具体的な取組について、名古屋市教育委員会始め関係諸団体と連携をとりながら、みなさんと共に考えていきたいと思っています。

事務局長 加島 道代
(宮中学校)

「子どもたちの輝く未来と学校事務の明日へ ～つなげる想い！高めあう力！～」

昨年度から引き続きこのテーマのもと、名事研活動がスタートしました。一人では不可能なことでも、互いにアイデアや意見を出し合うことで、みなで成し得ることはないでしょうか。会員一人一人が「連携」を意識しながら、子どもたちのために積極的に活動をしていきましょう。

今年度の名事研は、2つの重点項目を設定しました。

- 1 「名古屋の学校事務のグランドデザイン」の検討
- 2 名事研組織運営体制についての検討

どちらも大きな課題であります。世話係会や区事務研などで出された意見をもとに検討を重ね、共通理解をしながら、進めていきたいと思えます。

「名古屋の学校事務のグランドデザイン」の検討を重点項目に設定してから、「グランドデザインって何？」と聞かれます。学校において、グランドデザインを策定しているところもあるでしょう。「学校のグランドデザイン」とは、子どもや保護者などの願いを踏まえ、目指す学校像や子ども像を描き、その実現を図るために、学校としてどのような取組を考え、実践していくかを示した全体構想です。

「学校事務のグランドデザイン」も同様で、学校を取り巻く状況を踏まえ、目指す学校事務像を描き、その学校事務を達成するために、何をしていくか示したものだと思えます。名古屋バージョンの学校事務を描くことで、名古屋の学校事務職員の理想とするものが見えてくると思えます。

名事研組織運営体制については、事業の整理と精選を始め、役員や専門部などの役割や予算執行の在り方についても検討をおこない、名事研がより機能的な組織となるようしていきたいと思えます。

事務局は、この2つの重点項目の推進役として専門部等と連携していきます。研究部では「名古屋の学校事務のあり方」と「めざす学校事務職員像」に関する研究に取り組みます。研修部では全体研修会と基礎研修会の企画運営を行います。総務部では市研究大会と総会の準備運営を中心に行います。情報部では情報の共有化、学校事務の効率化・高度化を目指して進めていきます。

平成22年度版学校事務ハンドブックの編集は、名東区学校事務研究会が担当します。また、政令指定都市学校事務職員研究協議会定例会が名古屋市で開催されるため、その準備運営にあたりるとともに、定例会において他の政令指定都市との情報交換や協議を行います。

子どもたちの輝く未来のため、よりよい学校づくりを目指して、会員が互いに連携をとり、学校事務の明日を描いていきましょう。

各局・部長から ひとつこと

研究部

研究部長 長松軒 由美

今年度、私の学校も学校間連携実施ブロックのひとつとなりました。知識や実践、悩みや目標を共有し協力して取り組むことで、お互いを高めあう機会にできればと思います。

これからの学校事務を考える上で、現在の連携はひとつの通過点です。研究部では、「将来になりたい姿」をイメージしながら、名古屋の学校事務のあり方を皆さんと共に考えていきたいと思っています。

総務部

総務部長 内藤 洋子

昨年度から本格実施された学校間連携の拠点校になり、どのように進めていったらよいのか、試行錯誤の1年でした。その中で、今までとは違った目線で学校事務を見直すことができた気がします。

今年度総務部では、名事研の中での総務部の役割について考えていきたいと思っています。市研究大会・定期総会の準備運営、要覧・事務職員名簿の作成発行と重要通知文集の更新作業、各種研究大会の案内・集約、会報等の配付を行います。皆さんのご協力をお願いします。

事務局

事務局長 加島 道代

今、幕末から明治初期の頃を書いた小説を読んでいます。登場人物は、激動の時代の中、必死になって自分で考え、他の意見を聞き論議し、自らの道を導きだし行動していると感じました。

事務局の役割として重点項目の推進に努めます。推進する一歩として「自分で考え、他の意見を聞き論議」するための場の設定をします。そして、次の一歩へと続くように進めます。

研修部

研修部長 小池 ひとみ

怒涛のような4月が何とか過ぎていきました。忙しい時ほど仕事についていろいろ悩むことが多く、いつも何かしら不安な気持ちを抱えている自分がいます。

研修部では部員一同つねに学習という気持ちで、会員の方々へ役に立つ情報を提供できるように研修会に取り組んでいます。ご意見・ご要望などありましたら教えてください。皆さんと共に今後の研修のあり方を考えていきたいと思っています。

情報部

情報部長 濱田 光晴

「情報」という言葉は、明治時代に軍部で「敵情の報知」などの意味で使われ始めたそうですが、時を経て現在 **information** の和訳に落ち着いているそうです。現在では「情報」の内容もどんどん多岐に渡り複雑になってきました。情報部では、会員の方々への情報提供とともに、情報の活用方法についても検討していきたいと思っています。



講演 「学校事務職員に期待すること」

講師 名古屋市教育委員会 教職員課長 西淵 茂男 氏

総会に先立ち、西淵教職員課長より、「学校事務職員に期待すること」と題して、ご講演をいただきました。

はじめに、学校事務職員の法的位置付けの経緯を説明され、その後、学校事務職員の役割と求められることについて、ご自身の考えとして、「公教育とは意図的で計画的」であると同時に、子どもと教師の関係は微妙なバランスの上で成り立っている。そのことを認識した上で、学校運営に積極的に関わることが必要であり、学校教育の目指す子ども像に向けて組織体の一員として尽力してほしい。そのために必要な3つのマネジメント力として、「環境マネジメント力」「情報マネジメント力」「財務マネジメント力」をあげて、学校改善の流れの中で求められる分野で力を発揮してほしいと述べられました。

また、学校間連携の目的や役割にも触れられ、互いのブロックで知恵を出し合い、学校に持ち帰ってフィードバックし、他のブロックに広がっていくことで校務改善につながるのではないかと話されました。

平成21年度 役員・専門部員等名簿

会長	中村 紀子 (鶴舞小)	県事研副会長	幸島 克昌 (守山東中)
副会長	榊原 功剛 (富士中)	〃 監事	坪井 博子 (白金小)
副会長	服部 紋子 (御園小)	〃 研修部長	二村 忠浩 (千石小)
副会長	加藤 豊子 (白鳥小)	〃 事務局	伊藤 真也 (貴船小)
顧問	林 敦子 (幅下小)		早川 数幸 (平田小)
会計	近藤 高弘 (豊臣小)	〃 研究部	近藤万友美 (東白壁小)
会計監査	近藤万友美 (東白壁小)	〃 研修部	江上 愛子 (菊井中)
会計監査	鬼頭まゆみ (高見小)		鈴木 秀実 (有松中)
世話係長	田口 行博 (港南中)		木村 光一 (しまだ小)
副世話係長	伊藤恵美子 (豊岡小)	〃 情報企画部	宮田香津子 (大手小)
全事研理事	高木 英之 (白山中)	〃 事務支援部	茂吉 由実 (高杉中)
表簿用紙規格研究委員会委員	山内 健嗣 (千種中)		
表簿用紙規格研究委員会委員	山崎 文恵 (楠中)		
22年度東海大会 実行委員長	林 敦子 (幅下小)		
事務局 事務局長	服部 紋子 (御園小)		
事務局 事務局員	加島 道代 (宮中)	事務局次長	永井 智子 (丸の内中)
	林 昭宏 (六反小)		白根 勲 (天白小)
	服部裕実子 (宝南小)		
研究部	◎長松軒由美 (矢田中)	高木 英之 (白山中)	中村 昌也 (橘小)
	○毛利 和正 (豊田小)		
研修部	◎小池ひとみ (名城小)	今井まり子 (枇杷島小)	山田 雅代 (八幡小)
	○坪井 宏之 (楠西小)	土井 裕子 (桜山中)	白川 万由 (野並小)
	○遠藤 剛 (神丘中)	横井 智史 (井戸田小)	川村 覚 (味鏡小)
	横田 昌史 (飯田小)	中川真由子 (上社小)	山崎 文恵 (楠中)
総務部	◎内藤 洋子 (助光中)	井口 貴夫 (筒井小)	川端 真実 (上名古屋小)
	○関水 紀子 (成章小)	佐藤 治男 (米野小)	串田 出 (円上中)
	森川美穂子 (旗屋小)	佐藤真澄美 (八熊小)	伊藤亜里沙 (一柳中)
	田中 弘恭 (熊の前小)	○慶久 正喜 (千鳥丘中)	堀端 誠子 (高坂小)
	福本 定治 (苗代小)		
情報部	◎濱田 光晴 (桜丘中)	早川 数幸 (平田小)	萬代 圭亮 (伝馬小)
	○渋谷 高司 (原小)	安達孝一郎 (はとり中)	土田 陽一 (守山養護)
	鈴木 俊太 (比良西小)	今村 京子 (高木小)	加藤 里香 (明德小)